

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ラベンダー		公表日		R7 年 7 月 20 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		スペースに対しての定員数を守れている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員は、基準値の配置はできています。安全性、専門性が保てるよう、保育士等の有資格者を多くしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		ロッカーや下駄箱、洗面所の整列など、名札や絵カード等を利用し、子どもたちが解りやすいように工夫しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の掃除、消毒を行い、定期的に業者にも来てもらっています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	支援のほとんどは同じ教室で行っています。別室の利用は、STをする時や気持ちの切り替えが必要なお子さまの場合に使っています。	別室がもう少し使いやすくなるよう、整備をしていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		まずは指導案を作り、プログラムを行った際には、随時、職員間で振り返り、改善に努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		随時、職員で話し合い、可能な範囲で改善に向けて取り組んでいます。	今後も、改善に向けて取り組めるよう、保護者様のご意見を大切にしていきたいと思えます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月に1回、職員会議を行い、話し合いをしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は、第三者委員会は設置していません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修に参加し、事業所内で研修や報告を行っています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎月のお便りに、プログラム内容や予定表を解りやすくまとめ、保護者様に公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		子ども達の様子や発達を考察しながら、職員間でのモニタリングを行い、児童発達支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管だけでなく、職員ともモニタリングで話し合い、個別支援計画書を作成しています。職員からは、日々の様子などを細かく聞くことが出来ています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画書を作成した後に、児発管が朝礼で職員間に伝達し、全職員に周知しています。専門的支援等にも、取り組めるように工夫しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		それぞれの子どもが、人や場所、集団活動等において、適応していけているか、日々の行動観察を行いながら、評価・分析を行っています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保護者のニーズにやそれぞれのこどもの発達状況や成長段階に合わせて、「本人支援」「家族支援」「移行支援」等の項目に対し、具体的な支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎日の課題、日々の集団遊び、粗大運動、イベント等を、それぞれの担当職員がテーマや方法を立案して、会議で話し合い、実践に繋げていっています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムは、固定化されないように、前月より案を出しながら幅広いプログラムを構成しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		集中力が必要な活動・専門性の高い活動においては、個別活動で行ったり、社会性・対人性(コミュニケーション、遊び、運動)等においては、集団活動を通して行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、朝礼で伝達し、リーダーが役割を考え、一日の支援を進めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		何かあった際には、その日に話し合い、翌日の朝礼やミーティングで全員に周知しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		課題での子どもの様子を記入し、子どもの現状を把握したり、モニタリング時にも振り返るようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一回はモニタリングを行い、子どもの状況把握と適切な支援を行えるように努めています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談員から連絡があった際や、子ども達の様子が気になる時には、情報を共有できるようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、保護者様からご依頼があった場合には、幼稚園、保育園へ見学に行き、連携をとらせていただいています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		上記同様。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様からご依頼があった場合には、情報共有させていただくようにしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			現在は、積極的に連携がとれていないので、気になるお子さまがいた場合には、スーパーバイズや助言を頂けるようにご連絡したいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			現在は、交流していませんが、近々、近所の園へ交流の機会を作っていただけのお話をする予定にしています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の様子は、連絡帳や送迎時に伝え、保護者様と共通理解ができるように努めています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		お家と事業所での過ごし方に大きな違いのあるお子さまや、保護者様からご相談があった際には、事業所にペアレントトレーニングをさせて頂いています。	もう少し多くの保護者様にもご対応できるよう、少しずつ取り組めるよう努めています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学や契約時に、ご説明させていただいています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様のご意見を尊重しながら、子ども達の強みや好きなことも取り入れ、個別支援計画書を作成しています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		送迎時に直接お渡しし、その都度ご説明させて頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的なモニタリングや、保護者様からご相談があった際には、ご対応させて頂いています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		日時や場所、開催方法の設定が難しく、まだ対応ができていません。今後状況に応じ、検討していきたいと思えます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご相談があった際には、一度事業所に持ち帰り、職員間で相談した後に、できるだけ対応できるよう取り組む努力をしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		保護者様には、お便りや写真で活動の様子をお伝えさせて頂いています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については、外部に漏れないように十分留意しています。書類等は、書庫で保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		なるべくご理解していただきやすいよう、保護者様にとって解りやすくご説明をさせて頂いています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現在は、事業所が主となっている活動はしていません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは策定しています。定期的に見直し、変更があった際には、マニュアルの変更も行い、職員研修や訓練を実施しています。保護者様には、お便り等でお伝えしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		専門の方にBCPを見直してもらい、事業所に合ったものを策定しています。毎年、定期的に研修や訓練を実施しています。	今後も、災害に備えて、備品整備等をしていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時のフェイスシートに記入してもらい、把握しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがあるお子さまには、病院でのアレルギー検査表を提出してもらい確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		毎年、安全計画を作成し、必要な研修や訓練を行っています。（教室、駐車場、送迎車、物品等の点検。散歩コース、避難経路、緊急連絡先等）	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		訓練実施時には、連絡帳に記載しています。お便りにも記入し、保護者様へ周知させて頂いています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故に繋がりそうになった際には、ヒヤリハットを作成して、職員間で話し合い、再発防止に向けた取り組みを行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年、虐待防止の研修を行い、毎日適切な関りができるよう努めさせています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		原則、身体拘束は行わないことを徹底していますが、やむを得ず必要になった場合には、委員会で話し合い、保護者様の合意を得ること、書類記入の仕方等を話し合っています。		